

## いのちの尊さを伝える本(平成28年)

### 12月の推薦本

- ・「ほくうまれるよ」作:たしろちさと (アリス館)

おすすめコメント:ほくはいま、おかあさんのお腹の中。今日はほくが生まれる日。だいじょうぶかな。

おかあさんといっしょだからきっとだいじょうぶ。かぼの赤ちゃんとお母さんが共にがんばる、赤ちゃん誕生のお話。

(蔵書:中央図書館、北西)

- ・「いしをつんだおとこ」あきやまただし作 (ハッピーオウル社)

家もない貧しい男がいました。ある日、男は石を積みはじめました。ひとつ、またひとつ石を拾っては、積んでいきます。来る日も来る日も石を積みつづけたひとりの男のお話。

(蔵書:中央図書館、南、西)

### 11月の推薦本

- ・「くっついた」作:三浦太郎 (こぐま社)

おすすめコメント:動物が仲良くくっついたり おかあさんと赤ちゃん、おとうさんのほっぺがくっつく…笑顔になる一冊です。

(蔵書:中央図書館、北、西、南、あおぞら号)

- ・「すてきな三にんぐみ」トミー・アンゲラー作 今江祥智訳 (偕成社)

黒マントに黒帽子の三人組のどろぼうがある日見つけたのは… 本当の宝ものって何だろう? 色使いも素敵な大人も楽しめる絵本です。

(蔵書:中央図書館、北、西、南、あおぞら号)

### 10月の推薦本

- ・「だいすきひゃっかい」作:村上しいこ 絵:大島妙子(岩崎書店)

おすすめコメント:親子の愛情、抱っこしてもらう喜びを思い出して、ほっこりした気持ちになります。

- ・(蔵書:中央図書館、北、西、南、あおぞら号)

- ・「まいごのどんぐり」作:松成真理子(童心社)

おすすめコメント:コウくんのどんぐり。名前は「ケーキ」。コウくとケーキのやさしさと思いやりにあふれた物語に涙があふれます。

(蔵書:中央図書館、北、西、南)

### 9月の推薦本

- ・「うそ」 作:中川ひろたか 絵:ミロコマチコ (金の星社)

おすすめコメント:お母さんのオムライス、ちょっとまずかったけど「おいしい!」って言ってあげた。これは「うそ」なの?

簡潔な言葉に迫力ある絵が光ります。

(蔵書:中央図書館、北、西、南)

・「ほくだけのこと」 作:森絵都 絵:スギヤマカナヨ (理論社:2003年刊/偕成社:2013年再刊)

おすすめコメント:5人家族で、ほくだけ蚊にさされる。ほくの町で、ほくだけおとなりの犬のチャッピーにほえられない。

さがしてみて。そんな、ほくだけわたしだけのこと。

(蔵書 理論社:中央図書館、北、南/偕成社:西)

## 8月の推薦本

・「ピロードのうさぎ」 原作:マージェリィ・W・ピアンコ 抄訳:酒井駒子 (フロンヌ新社)

おすすめコメント:大事にされたら本物になれる…誰かを大切に思う気持ちを教えてください。

(蔵書:中央図書館、北、西、南)

・「せいめいのれきし」 文・絵:バートン 訳:石井桃子 (岩波書店)

おすすめコメント:私たちの生命のもとをたどると果てしない歴史があることをあらためて感じさせてくれます。

(蔵書:中央図書館、北、西、南)

## 7月の推薦本

・「このあとどうしちゃう」 作・絵:ヨシタケシンスケ (フロンヌ新社)

おすすめコメント:死んだおしいちゃん書いた「このあとどうしちゃう」のノート。「死」をキチンと考えると「今を生きる」ことに繋がります。

(蔵書:中央図書館、北、西、南)

・「こすもすベーカリー物語」 編:日本児童文学者協会 絵:松本春野 (新日本出版社)

おすすめコメント:戦争と平和を考える1編を収録。子どもの目線からの作品は読みやすく、また深く考えさせられます。

(蔵書:中央図書館、北、南、あおぞら)

## 6月の推薦本

・「約束」～無言館への坂をのぼって～ 作:窪島誠一郎 絵:かせいよう (アリス社)

おすすめコメント:なぜ「無言館」という美術館が誕生したのか。希望を持って生きることの大切さが伝わるお話です。

(蔵書:中央図書館、北、西、南)

・「ほちほちいこか」 作:マイク＝セイラー 絵:ロバート＝グロスマン 訳:いまえ よしとも (偕成社)

おすすめコメント:なにをやってもうまくいかないかほくん。そんな時でも、じっくりあせらず、ほちほちいこかのユーモラスな姿に、クスッと笑い、心癒される一冊です。

(蔵書:中央図書館、北、西、南)

## 5月の推薦本

・「ヤクーバとライオン(1)勇気」 作:ティエリー・テテュー 訳:柳田邦男 (講談社)

おすすめコメント:アフリカ奥地の村の少年ヤクーバは一人前の若者として認められるために独りでライオンを倒しに出掛ける。しかし、そこで出会ったのは瀕死のライオンだった。

(蔵書:中央図書館、北)

・「しあわせの王子」 絵:いもとようこ文 原作:ワイルド (金の星社)

おすすめコメント:南へ向かう途中、羽を休めていたつばめにしづくが落ちてきました。見ると金と宝石に飾られた王子の像が泣いています。

貧しい人に宝石を届けたいという王子の願いを聞き、つばめは剣のルビー、目のサファイア、金箔を取っていきます。とうとう灰色になってしまった王子は…。

(蔵書:中央図書館、北、西、南)

## 4月の推薦本

・「おはつーフォトポエム絵本ー」 著:工藤直子 写真:ネイチャー・プロダクション (小学館)

おすすめコメント:4月は「はじめまして」の季節。人も自然も春のエネルギーをもらって、新しい生活を元気にスタートしましょう!

(蔵書:中央図書館)

・「ねこのピートだいすきなしろいくつ」 作:エリック・リトウィン 絵:ジェームス・ティーン 訳:大友剛訳 文字画:長谷川義史 (東京 ひさかたチャイルド)

おすすめコメント:失敗やつまづきはつきもの。「なにがあっても うたをうたって まえにすすむってこと」ピートの前向きな姿に勇気がわきます。

(蔵書:北図書館、南)

## 3月の推薦本

・「びくびくビリー」 作:アンソニー・フラウン 訳:灰島かり (東京 評論社)

おすすめコメント:ビリーはとても心配性。いろいろ気になって、夜もなかなか眠れません。

そんな時おばあちゃんがくれたものとは…

(蔵書:中央図書館、北、西、南)

・「はるがきた」 文:ジーン・ジオン 絵:マーガレット・フロイ・グレアム 訳:こみやゆう (東京 主婦の友社)

おすすめコメント:なかなか春が来ないので街の男の子がいいことを思い付きました。春の訪れの嬉しさ暖かさを感じる本です。

(蔵書:中央図書館、北、西、南)

## 2月の推薦本

・「たんじょうびおめでとう」 著:わかやまけん (こくま社)

おすすめコメント:3歳のお誕生日。ちいさなことのひとつひとつが出来るようになった喜びを思い出してください。

(蔵書:中央図書館、北、西、南)

・「めしあがれ」 作:視覚デザイン研究所 絵:高原美和 (東京 視覚デザイン研究所)

おすすめコメント:悲しい時もつらい時も、とにかくこの絵を見てください。きれいで、おいしそうなお菓子を見れば幸せな気持ちになります。

(蔵書:中央図書館、北、南)

## 1月の推薦本

・「犬になった王子-千ベットの民話-」 文:君島久子 絵:後藤仁 (東京 岩波書店)

おすすめコメント:知恵と勇気で困難を果敢に乗り越える、千ベット族の壮大な冒険物語。丹念に描かれた日本画が美しい。

(蔵書:北図書館、西)

・「名犬千ロリ-日本初のセラピードッグになった捨て犬の物語-」 著:大木トオル (東京 岩崎書店)

おすすめコメント:団地のゴミ箱に捨てられていた雑種犬千ロリが、人の心を癒やすセラピードッグとして成長し、弱い人に優しく寄り添う姿に心をうたれます。

(蔵書:中央図書館、西、南)